

大阪府知事賞

緩和分野

事業者名 阪急電鉄株式会社・阪神電気鉄道株式会社

取組事例 環境に更にやさしい公共交通へ

(全線カーボンニュートラル運行と省エネ・創エネの取組)

【URL】

阪急電鉄株:<https://www.hankyu.co.jp/>

阪神電気鉄道株:<https://www.hanshin.co.jp/>

<主な取組内容>

鉄道は自家用車の移動と比べてCO₂排出量が低い移動手段で、阪急・阪神線では自家用車に比べて、1人が1km移動する際に排出するCO₂が約1/10である。環境に更にやさしい公共交通を目指し、様々な省エネ・創エネ施策でCO₂排出量削減に取り組む。カーボンニュートラルラッピングトレインを通じて、公共交通の利用が社会全体のCO₂削減につながることを訴求し、自家用車から公共交通へのモーダルシフトに向けた行動変容を促進する。

①カーボンニュートラル運行

再エネ由来の非化石証書により関西では初となる、全線でのカーボンニュートラル運行を実施し、年間約20万t-CO₂を削減。ラッピングトレインの運行により視覚的にはたらきかけ、阪急・阪神線の利用者や沿線住民に向けたPRで、環境意識の醸成につなげる。

②公共交通における省エネと創エネ

脱炭素効果が高いVVVF車両の導入で従来車両に比べて最大60%のCO₂削減を可能にし、駅照明のLED化など省エネに取り組む。また、計6駅への太陽光パネル設置、オフサイトPPAによる再エネ電源を導入し、創エネにも取り組む。



カーボンニュートラルラッピングトレイン（上：阪急電車、下：阪神電車）



阪神杭瀬駅に設置の太陽光パネル

受賞者 コメント

阪急・阪神の環境への取組を高く評価いただき、大変光栄に思います。これを機会に、鉄道が環境にやさしい移動手段で、皆さまが普段阪急・阪神をご利用いただいていることが、脱炭素に貢献していることを広く知っていただきたいと思います。

適応分野

事業者名 パナソニック健康保険組合 松下記念病院
取組事例 気候変動適応のハブ”に！ 松下記念病院が進める「共創モデル」

【URL】

<https://kenpo.jpn.panasonic.com/kinen/index.html>

<主な取組内容>

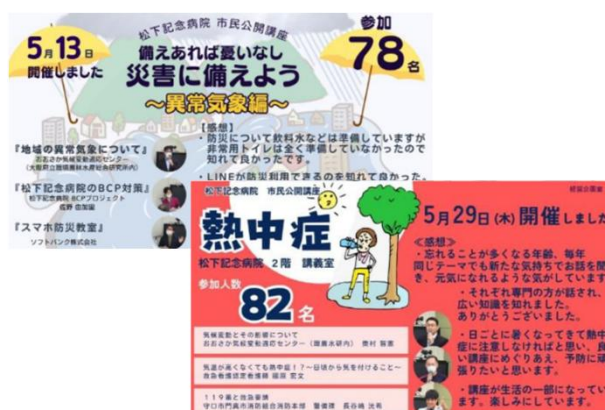
あらゆる世代が利用する府民に身近な地域医療拠点として、行政・企業・地域団体と連携し、「健康」や「気象災害への備え」をテーマに、気候変動への適応策を府民に推進している。こうした取組を通じ、地域における“気候変動適応のハブ”としての役割を担い、共創による活動を展開している。

①市民向けイベント

熱中症予防や災害対策をはじめとする市民向け講座や、三世代で体験できる「わくわくフェスタ」を通じて、気候変動リスクへの理解を深める普及啓発に取り組んでいる。こうした“人が集まり、体験できる場”を起点に、医療機関としての新たな役割や価値を提示するとともに、地域全体の適応力向上につなげている。これらの取組を他病院も集まる発表会等で紹介、見学依頼を受けるなど、他の医療機関にも活動の意義が共有され、共創モデルの広がりとともに波及が進んでいる。

②BCP（事業継続計画）に伴う活動

BCP策定と定期的な防災訓練により、職員の災害医療の意識を高めるとともに、看護学生にも参加してもらうことで、次世代の医療人材が地域課題に触れる機会を創出している。



気候変動に関連する市民公開講座



各ブースでの体験の様子（わくわくフェスタ）



看護学生も参加する防災訓練の様子

受賞者
コメント

医療の枠を超え、さまざまな団体とともに気候変動への備えを”自分ごと”として伝えてきた取組を評価いただき、ありがとうございます。今後も地域の身近な医療拠点として、健康リスクへの備えと行動につながる啓発を続け、地域全体の適応力向上に貢献してまいります。

優秀賞

緩和分野

事業者名 柏原計器工業株式会社

取組事例 水とエネルギーの未来を動かす「見える化革命」

【URL】<https://kashikei.co.jp/>

<主な取組み内容>

「見える化によって行動を変える」という考えのもと、社内の電力・水使用状況を把握することで、無駄や異常使用を早期発見し、水と電力を統合管理した全体最適化により、CO₂削減と水資源の有効利用、水環境負荷軽減を同時に実現した。

①スマート水道メーター開発による可視化
自社開発のスマート水道メーターにより、使用量データをCO₂換算することでエネルギー使用量を可視化し、「水を使う＝エネルギーを使う」という意識改革が進み、社員が主体的に改善策を提案する文化を定着させた。2022～2024年度の3年間で累計3,237トン（約21%）の水使用量を削減。

②組織体制と社内教育

経営層から現場まで一体となり、PDCAサイクルを確実に回す体制を構築し、毎月の会議では業務進捗に限らず、省エネ・省水活動の進捗確認を行い、改善目標や行動計画も策定する。また、若手社員がデータ分析や改善提案する実践的研修を体系的に展開し、環境人材育成に取り組む。



スマート水道メーター



昨日と違う今が見えるエネルギー管理の概要



現場×学び：若手が挑む省エネ（研修の様子）

受賞者
コメント

この度は「おおさか気候変動対策賞」優秀賞をいただき、大変光栄に思います。IoTとデータ分析を活用した「見える化」により、社員一人ひとりが自ら動く文化が生まれました。これからも最新技術とDXの力で、水とエネルギーの持続可能な未来の実現に向けて邁進してまいります。

優秀賞

緩和分野

事業者名 株式会社サンプラザ

取組事例 サンプラザの環境負荷低減への取り組み

【URL】<http://www.super-sunplaza.com/>

<主な取組み内容>

地域密着型のスーパーマーケットとして、環境負荷低減に寄与する農産物の販売や情報発信、収穫体験等のイベントを通して、長年にわたって地産地消や各農産物の普及啓発に取り組む。

①取扱数府内トップクラスの小売店

府内全店舗で多品種の有機JAS認証食品、みえるらべる登録品、大阪エコ農産物等の取扱いや大阪版CFP表示を実施するとともに、これらの表示に参加する生産者を増やすための支援を継続している。付加価値を適正に評価し、生産者と直接取引をすることで、持続可能な農業の確立につなげている。

②行動変容促進に向けた創意工夫

大阪・関西万博では「みえるらべる」啓発イベントを実施し、店舗でもサイネージ掲示でCFP等の普及啓発を行う。消費者と生産者をつなぐ収穫体験や、従業員向けに「環境負荷低減寄与食材を使用したお弁当フォトコンテスト」を実施し、身近にCO₂削減に取り組める行動変容に向けた仕組みづくりとなっている。



様々なアイテムを取扱う売場と表示の様子



みえるらべる認証米を
使用したおにぎりを万
博で配布

全店舗でサイネージ
による啓発を実施

受賞者 コメント

サンプラザが地域の皆さまとともに進めてきた環境負荷低減の取組を、大阪・関西万博が開催された年にご評価いただき、大変ありがたく思います。今後も、お買い物を通じて、より良い未来社会の実現に向けた行動変容の輪を、様々な活動を通じて「デザイン」していきたいと思っています。